

令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
主管課： 建設課
関係課： 都市計画課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が安全で快適に移動できるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合							(%)	建設課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)		
71.70	74.40	77.90	74.50	70.30	75.90	75.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より、5.6ポイント増加している状況です。 (原因) 道路補修や安全施設設置について迅速に適切に対応したことで、市民が安全と感じることができていると考えられる。						
対前年度	向上							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題とする							

公共交通に対する市民の満足度							(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)		
48.60	46.50	49.30	48.40	45.30	47.70	57.00		
向上指針	上がると良い	(現状) 前年度より、2.4ポイント増加しております。 (原因) モコバス運行のルートの見直し、ダイヤ改正、新車両の導入及びデマンド乗合交通の普及が原因と考えられます。						
対前年度	横ばい							
目標達成度	低							
次年度課題	課題とする							

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	838,853	855,224	1,629,434	1,828,880	1,264,424
人件費	72,031	63,936	50,482	0	0
トータルコスト	910,884	919,160	1,679,916	1,828,880	1,264,424

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 未改良道路の整備	向上	向上				136,187	156,255	429,323	346,100	511,400
02 道路の適切な維持管理	低下	横ば				267,615	324,484	500,705	382,557	464,342
03 都市計画道路の整備	横ば	横ば				334,402	309,559	614,599	1,004,041	192,500
04 公共交通網の充実	低下	低下	向上	横ば		95,104	55,450	77,151	85,401	85,401
99 施策の総合推進						5,545	9,476	7,656	10,781	10,781

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

都市計画道路については、街路事業費補助金が要望どおり配分され、用地の買収が順調に進みましたが、今後さらに事業を推進する必要があります。また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき西荻久保橋等四橋を修繕を実施しました。つくばエクスプレスについては、8両編成化についての事業が進められており、引き続き鉄道会社や国等へ東京駅延伸や通学定期割引率拡大について働きかけを行っていきます。 バス交通については、モコバスのルート見直し、ダイヤ改正、新車両の導入し、デマンド	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

都市計画道路については、都市再生整備計画事業交付金等を活用し、用地の取得を進め更なる整備促進を図ります。 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸や通学定期割引率の拡大、8両編成化の早期実現について、引き続き鉄道会社や国等に対し働き掛けを行っていきます。 バス交通については、モコバスやデマンド乗合交通について、利用者からの要望等をふまえながら、効率的で利便性の高い交通を目指し、随時見直しを行います。	成果方向性	より向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

都市計画道路については、都市構造再編集集中支援事業交付金等を活用し、用地の取得を進め更なる整備促進を図ります。 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸や通学定期割引率の拡大、8両編成化の早期実現について、引き続き鉄道会社や国等に対し働き掛けを行っていきます。 バス交通については、モコバスやデマンド乗合交通について、利用者からの要望等を踏まえながら、効率的で利便性の高い交通を目指し、随時見直しを行います。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減